

サービス改善計画書

策定日：令和6年3月15日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：きぼう

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
職員の配置数は適切であるか	△	個別対応の児童が増えてきている	支援方法の共有、連携を図り、滞りなく支援できる体制作りをしていく。	令和6年度	児発管職員	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△	話し合う時間を確保できていなかった。	評価・改善までできるように検討する時間を設けていく。	令和6年度	児発管職員	
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	△	全員が研修に参加できなかつた。	全職員が研修に参加できるように計画を立てていく。	令和6年度	児発管	
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	△	客観的な記録の取り方を学ぶ必要がある。	記録の取り方など、ミーティングや研修で学ぶ機会を設けていく。	令和6年度	児発管職員	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	就学前の施設との連携が図れていない。	情報を共有できるようにしていく。	令和6年度	児発管職員	

障害福祉サービス共通評価基準 概評

放課後等デイサービス

きぼう

- ・ 職員の資質向上を目指し、支援を図っていく。
- ・ チームで支援に取り組む。
- ・ 研修計画を立て、研修を斡旋していく。
- ・ 働きやすい職場を作っていく。
- ・ 子どもの発達に合わせた活動を計画していく。